

建築意匠に関する市条例、計画

○高山市美しい景観と潤いのあるまちづくり条例

(基本理念)

第3条 まちづくりは、市民自らが主体となってこれに参加し、推進するものであることを認識し、市、市民、事業者の信頼と理解のもとに、協働して行わなければならない。

2 土地の利用は、公共の福祉を優先させ、本市を取りまく恵まれた自然環境、先人たちの英知と努力によって引き継がれてきた独特の歴史的資源及び市民の安全で快適な生活環境に配慮して、市域全体の秩序ある発展に寄与するものでなければならない。

3 **景観に影響を与えるあらゆる行為は、市民共有の資産である自然や伝統文化と調和した美しい都市景観の創出に寄与するものでなければならない。**

○高山市誰にもやさしいまちづくり条例

(基本理念)

第3条 市、市民及び事業者は、次に掲げる基本理念に基づき、相互に協力し、及び連携し、一体となって誰にもやさしいまちづくりを推進するものとする。

1 誰もが安心して心ゆたかに過ごせるようお互いを理解し、尊重し、支えあう心を育てること。

2 **誰もが安全に快適に過ごせるよう利用しやすい施設や生活環境を整備すること。**

○高山市景観計画

良好な景観の形成を図る必要がある区域を景観計画区域として定め、その区域における景観形成に関する方針や基準などを景観法に基づいて定める計画

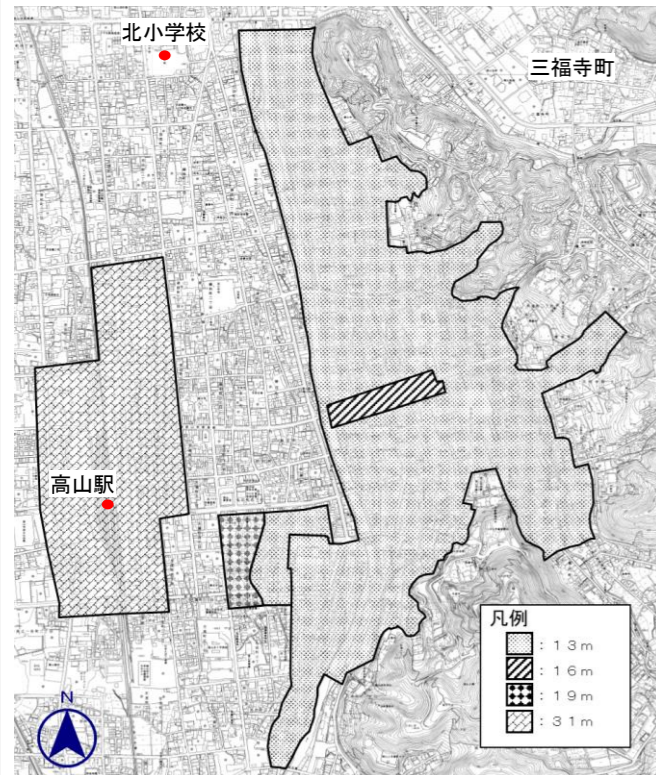
(主な特徴)

1. **各地域の景観特性に応じた建築物高さの最高限度の基準を設定**

2. **建築物などの色彩についてマンセル表色系による基準を設定**

3. 棚田などの良好な農山村景観の保全についての取り組みを明示

※建設地は景観重点区域に設定されていないため、以下の**高山全域に対する基準**となる



対象	基準															
建築物	色彩 ・けばけばしい色彩とせず、落ち着いた色彩とする。 ・マンセル値における基準値は原色(下記の定義による。以下同じ。)以外とし、推奨値は下記の表のとおりとする。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><th colspan="3">推奨値</th></tr> <tr><th>色相</th><th>明度</th><th>彩度</th></tr> <tr><td>5~10R</td><td>2以上</td><td>8以下</td></tr> <tr><td>YR</td><td>2以上</td><td>8以下</td></tr> <tr><td>Y</td><td>2以上</td><td>8以下</td></tr> </table> ・無彩色(N)については、基準値・推奨値とも明度2以上9以下とする。 ・光線の反射を抑えるものとする。	推奨値			色相	明度	彩度	5~10R	2以上	8以下	YR	2以上	8以下	Y	2以上	8以下
	推奨値															
色相	明度	彩度														
5~10R	2以上	8以下														
YR	2以上	8以下														
Y	2以上	8以下														
形態意匠	・周辺の景観と調和したものとする。															
工作物	色彩 ・けばけばしい色彩とせず、落ち着いた色彩とする。															
	形態意匠 ・周辺の景観と調和したものとする。															

・高山地域における左記以外の高さの最高限度の基準は**22m**とする。ただし、伝統的建造物群保存地区、市街地景観保存区域、景観重点区域、都市計画等により別途規定されている場合はそれぞれの基準とする。(工作物は除く)

要求水準書に盛り込む事項(案)

○基本的事項(市条例、計画に基づく事項)

(全般)

・施設建設に係る各種法令、例規及び市関連計画を遵守すること

(施設外部意匠)

・施設の高さを22m以内(煙突高を除く)とすること

・自然や伝統文化と調和した美しい都市景観の創出に寄与する意匠とすることとし、施設周辺地域は、山々に囲まれた自然豊かな場所であることや、将来的には施設に近接する埋立処分地についても公園化を予定しているため、周辺環境に十分調和した外観とすること

・施設に使用する色については、高山市景観計画に定める色彩基準の範囲内とすること

(施設内部意匠)

・明るく快適な作業環境を確保すること

・ユニバーサルデザインに十分配慮すること

(煙突)

・本体施設と同様に周辺景観に十分調和した色彩、形状とすること

○検討委員会として付加すべき事項

(施設外部意匠)

・景観との調和、色彩、素材、材質、仕上げ

(施設内部意匠)

・見学者動線、作業性、快適性、安全性、清潔感、耐久性

・地元産品の使用

(煙突)

・高さを59mとすること

事業者による設計案(外部内部意匠、煙突)の作成

ごみ焼却施設 建築事例

自治体	東京都武蔵野市	豊中市伊丹市クリーンランド(大阪府豊中市/兵庫県伊丹市)	ふじみ衛生組合(東京都三鷹市/調布市)	菊池環境保全組合(熊本県菊池市/合志市/大津町/菊陽町)
施設名	武蔵野クリーンセンター	ごみ焼却施設	クリーンプラザふじみ	菊池環境クリーンの森合志
施設規模	120トン/日(60トン/日×2基)	525トン/日(175トン/日×3基)	288トン/日(144トン/日×2基)	170トン/日(85トン/日×2基)
竣工	令和元年6月	平成28年3月	平成25年4月	令和元年6月
煙突高さ	59m(四角型)	45m	100m(丸型)	59m(四角型)
建設費	約111億円(0.92億円/トン)	約206億円(0.39億円/トン)	約97億円(0.33億円/トン)	約106億円(0.62億円/トン)
外観	 <p>パンフレットより</p>	 <p>※HPより</p>	 <p>パンフレットより</p>	 <p>※HPより</p>
外観デザインコンセプト	<p>建築デザイン方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての面が“オモテ”になるデザイン</li> <li>“やわらかく”“やさしい”デザイン</li> <li>“いつでも”“人の姿を感じる”デザイン</li> </ul> <p>※要求水準書より</p>	<p>森の中の再生工場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然を基調とした色彩を用いとともに、豊中市・伊丹市になじみのある樹木を用いて外周緑化・壁面緑化・屋上緑化を施し、周辺環境と一体感をもった施設</li> </ul> <p>※施設HPより</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑を活かし周辺の建物と調和した形態とし、圧迫感を軽減するなど、景観に配慮したデザインとする。</li> </ul> <p>* 要求水準書より</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境影響評価書における景観計画に基づき、周辺景観と調和を図った圧迫感のない形状や色彩に配慮した外観デザインとする</li> </ul> <p>※要求水準書より</p>
要求水準書抜粋				
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>本施設は、「低炭素型社会に向けたモデル施設としての建築デザイン」「中の活動が見えるオープンな施設」「見学者が自由に楽しめる施設構成」をテーマとした施設づくりを行うこと。</li> </ul>	<p>「森の中の再生工場」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑化については、景観上の効果や緑被率の向上に加え、植物の持つ二酸化炭素吸収能力を利用して、地球温暖化防止への寄与も期待できる。</li> <li>新ごみ焼却施設は、比較的大きな工場であり景観上の威圧感が懸念されるため、これを緩和し地域に親しまれる存在とするよう、建物への緑化も検討する必要がある。</li> <li>クリーンランドが広く市民に親しまれ、ごみ問題に関心をもってもらうためには、市民が訪れたいくなるような魅力も敷地内には必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物内及び敷地内のデザイン計画は、シンプルで明解・統一感のあるものとし、建物内外の色彩計画との調和を図ること</li> <li>ごみ処理施設の建築計画は、明るく清潔なイメージ、機能的なレイアウト、より快適安全な室内環境、部位に応じた耐久性等に留意し、各部のバランスを保った合理的なものとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明るく清潔なイメージ、機能的なレイアウト、より快適・安全な室内環境、部位に応じた耐久性等に留意し、各部のバランスを保った合理的なものとする。</li> <li>景観に配慮した施設形状・外観とし、事業実施区域全体で調和のとれたデザインとすること。</li> </ul>
外部意匠	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観意匠については、本事業計画地南側に位置する市本庁舎や本事業計画地東側に位置する市総合体育館、周辺環境との調和を図るため、3つの建築デザイン方針(「すべての面が“オモテ”になるデザイン」「やわらかく“やさしい”デザイン」、「いつでも“人の姿を感じる”デザイン」)に基づいたデザイン、色彩にすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の緑化は、大きな建築物のもつ威圧感を和らげる効果があり、建物周囲の植樹や壁面緑化を検討するとともに維持管理面も考慮すること。</li> </ul> <p>※新ごみ焼却施設整備基本計画より</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑を活かし、周辺の建物と調和した形態とし、圧迫感を軽減するなど、景観に配慮したデザインとする。また、可能な限り、屋上及び壁面を緑化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境影響評価書における景観計画に基づき、周辺景観と調和を図った圧迫感のない形状や色彩に配慮した外観デザインとする。</li> <li>煙突のデザインは、視覚的に認識しやすい色彩、照明等に配慮すること。</li> </ul>
内部意匠	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部意匠については、明るく快適な作業環境を確保するとともに、見学者が訪れるスペースは分かりやすい順路とし、明るいイメージの空間とすること。</li> <li>施設内の見学者動線は、見学者が安全に見学できるように配慮するとともに、原則、見学先はプラットホーム、ごみピット、焼却炉室、中央制御室、タービン発電機室、蒸気復水器、不燃ごみピット、灰クレーンピット、灰操作室、選別室等とし、これら施設が連続して見学でき、かつ自由に見学できる工夫を施すこと。特に、中央制御室は、発電量や排ガス規制値が確認できる工夫を施すこと。また、初めて来た見学者が新工場棟を良く理解・体感できることが重要であり、良好なスペース、臨場感等に留意すること。特に、小学生等の見学には子供の目線について配慮すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却施設特有の機能とごみの焼却処理フローについて、視覚に訴える実感を伴った見学対応が可能なスペースの提供。</li> <li>施設の規模(大きさ・高さ)が実感できる。</li> <li>作業動線と見学者動線の分離</li> </ul> <p>※新ごみ焼却施設整備基本計画より</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学者対策として、見学者がプラントの主要機器を快適で安全に見学できる配置・設備を考慮する。またユニバーサルデザイン等についても考慮する。</li> <li>見学先: ア)プラットホーム、イ)ごみピット、ウ)中央監視室、エ)炉室、オ)蒸気タービン、発電機室、カ)ごみクレーン操作室、キ)屋上緑化、ク)その他提案する場所</li> <li>見学ルート: 見学者は大会議室(兼研修室)で説明を受けた後、工場部門へ戻り、蒸気見学先を見学した後、大会議室(兼研修室)に戻る。</li> <li>見学者だまり: 上記見学先では20名程度の見学者が立ち止まれるスペースを確保する。</li> <li>見学者通路: 見学者通路の通路幅は柱内寸で3m以上確保する。また、見学者通路の限られたスペースを利用して展示スペースを設ける。</li> <li>見学場所の表示板: 各見学先には小学生用のひらがなの表示版を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学者が安全に見学・学習を楽しめる魅力的な見学ルートの形成を目指し、見学ルートは、バリアフリーに配慮すること。</li> <li>見学者通路またはホールから、炉室及び発電機室の内部の状況を見通せるように、防音、遮音、防臭対策を施した窓を設置すること。</li> <li>見学者が利用する諸室等の仕様は特に意匠性に配慮し、快適で魅力的な空間整備を行うこと。</li> <li>シンプルでわかりやすい見学者動線とし、見学者利用諸室及び廊下は自然光を取り入れ、明るく楽しい雰囲気となる仕掛けに配慮すること。</li> <li>見学者が大会議室兼研修室のスクリーン及び大型モニターや見学・学習コーナー、ラウンジ等の情報端末で中央制御室のモニター画面に表示できる全情報を閲覧できる仕組みを導入すること。</li> </ul>

煙突事例

自治体	東埼玉資源循環組合	東京二十三区清掃一部事務組合	東京二十三区清掃一部事務組合
施設名	第一工場ごみ処理施設	有明清掃工場	港清掃工場
施設規模	800トン/日(200トン/日×4基)	400トン/日(200トン/日×2基)	900トン/日(300トン/日×3基)
竣工	平成7年10月	平成7年12月	平成11年1月
煙突高さ	100m	140m	130m
建設費	約360億円(灰溶融除く)	約417億円	約445億円
外観	 <p>※施設HPより</p>	 <p>※施設HPより</p>	 <p>※施設HPより</p>
煙突デザイン	展望台	時計台	楕円系

ごみ処理施設イメージモニタージュ(上空写真)

(参考)



マンセル値 色相5R、明度2、彩度8



マンセル値 色相5YR、明度7、彩度8



マンセル値 色相10y、明度8、彩度8



コンクリート仕上げ



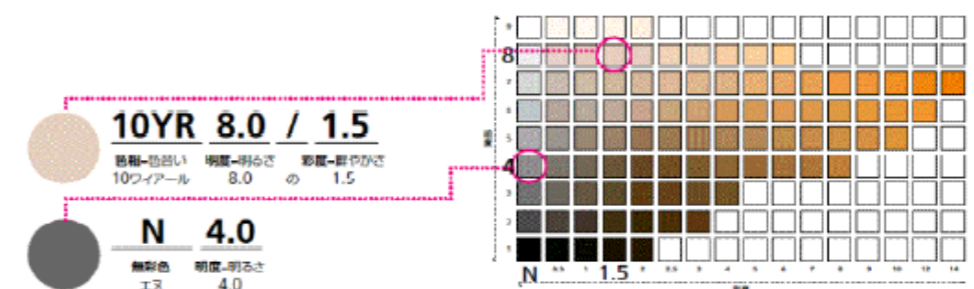
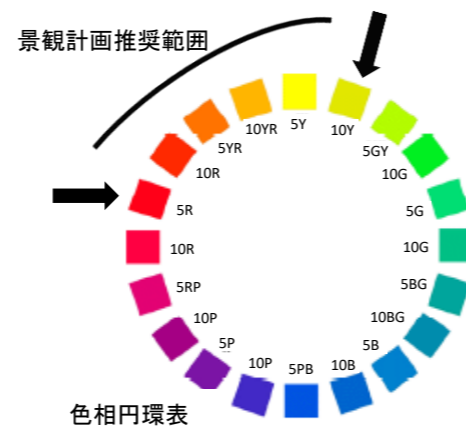
スリット仕上げ



格子仕上げ

○色彩基準の考え方について

・一般に色彩を赤や青、黄などの色名で表記します。しかし色名による表現は捉え方に個人差があり、一つの色を正確かつ客観的に表すことはできません。このため、景観計画における色彩基準の策定・運用にあたっては、日本工業規格にも採用されている国際的な尺度である「マンセル表色系」を採用しています。

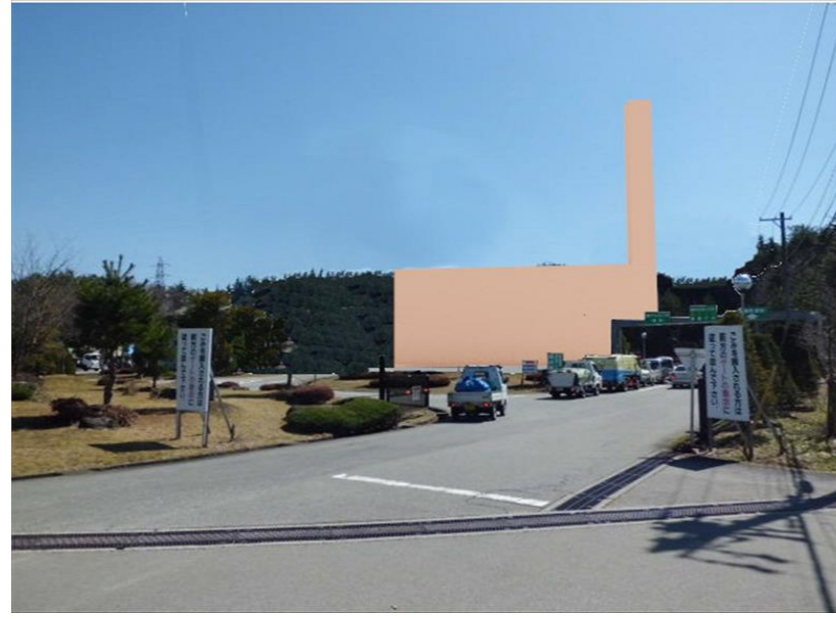


【マンセル値の表記例】

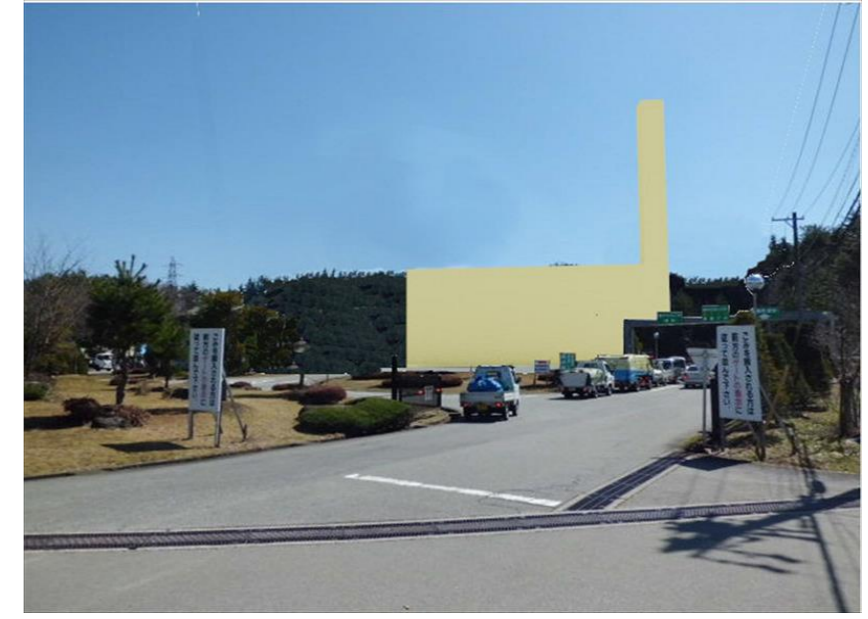
ごみ処理施設イメージモニタージュ(正面写真)



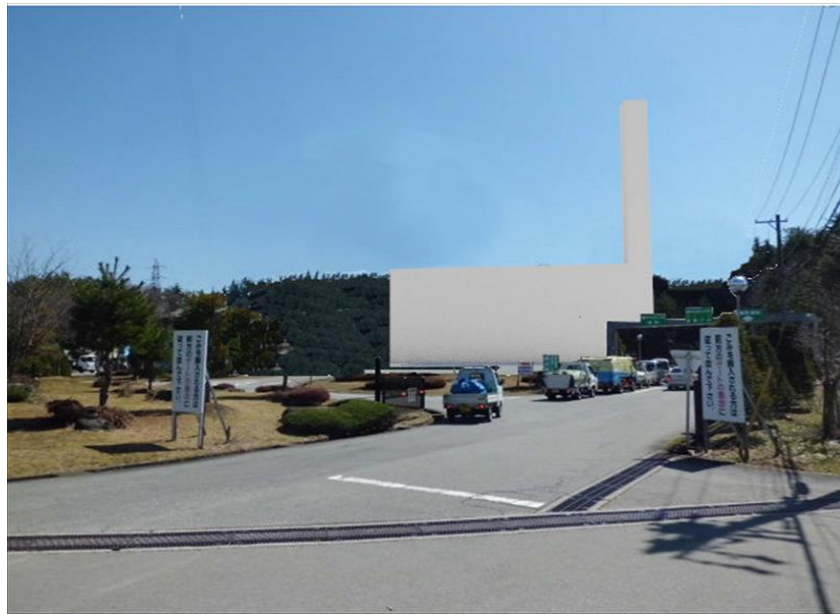
マンセル値 色相5R、明度2、彩度8



マンセル値 色相5YR、明度7、彩度8



マンセル値 色相10y、明度8、彩度8



コンクリート仕上げ

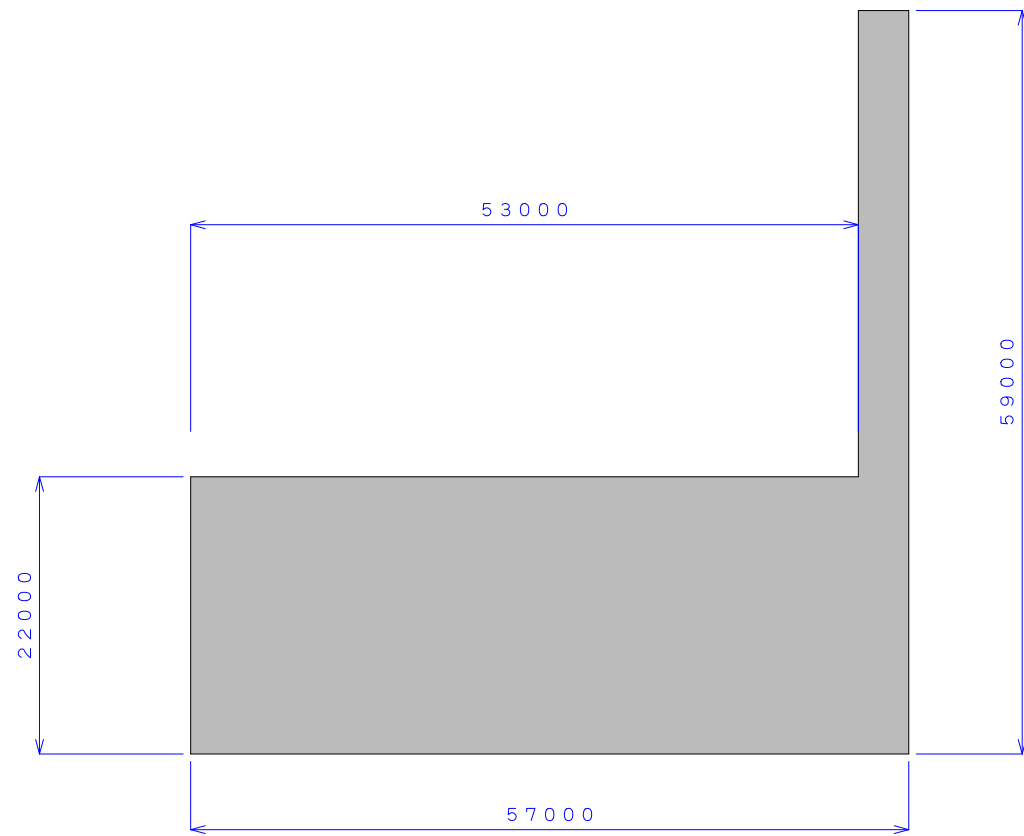


スリット仕上げ

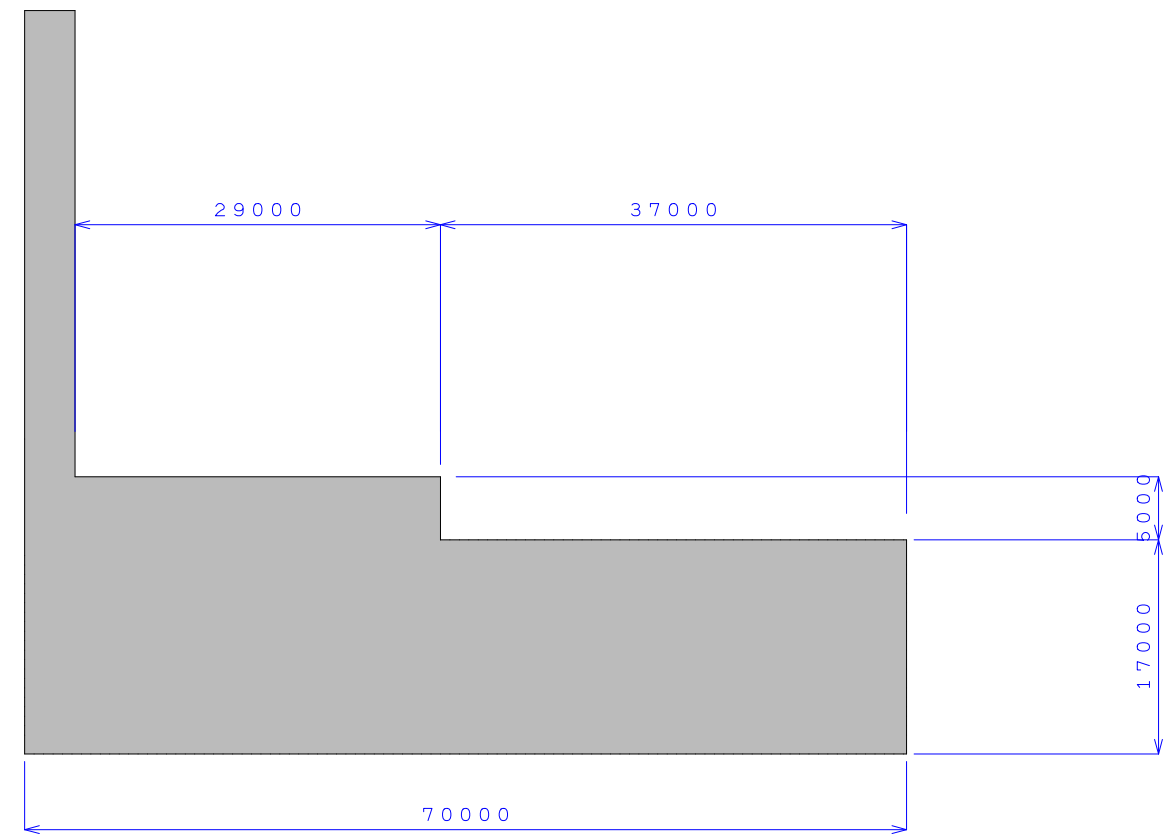


格子仕上げ

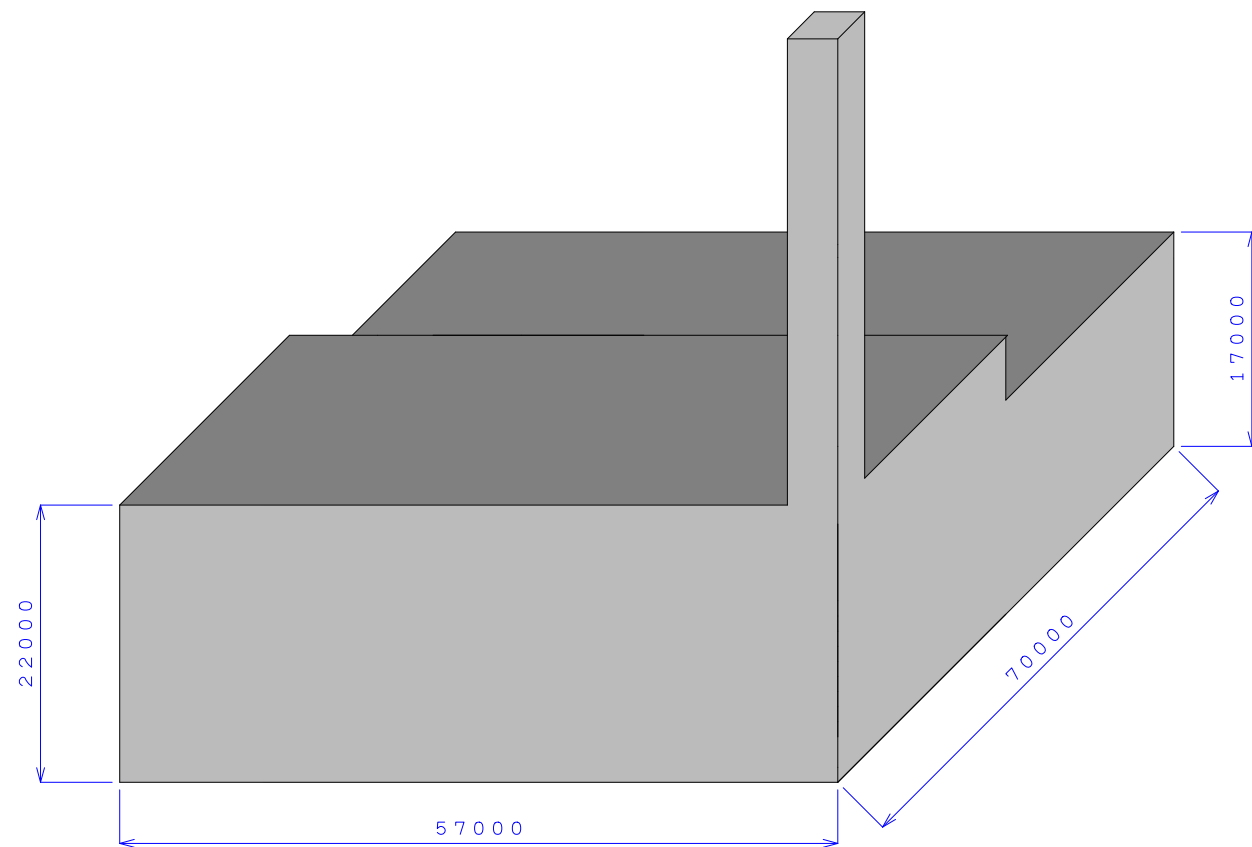
正面図



側面図



立面図



側面図

